



DIAMOND SYSTEM

ダイヤモンド システム

【マイクロセメント】

施工要領書

商品紹介	2-5ページ
施工手順	6-8ページ
パテ処理、注意事項等	9~10ページ



株式会社オンザウォール
静岡市駿河区池田364-1
TEL 054-368-4386
FAX 054-368-4387
onthewall000@gmail.com
202305

接着材

ドック プライマー (1液性)

水で倍に薄めてご使用ください

- ※刷毛やローラー塗布
- ※水希釈率100% (1 : 1)
- ※1~2度塗り
- ※乾燥時間 2~3時間
- ※使用量目安 60~130cc/m²



5 L (40~100m²)

ワンプライマー (2液性)

(ドックプライマーの強力版)

A : B = 4 : 1 + 水10%

- ※刷毛やローラー塗布
- ※水希釈率10%
- ※1度塗り
- ※乾燥時間 2~3時間
- ※使用量目安
- ※A : 100g + B : 25g + 水12.5cc/m²
- ~A : 120g + B : 30g + 水15cc/m²



A : 4kg + B : 1kg + 水500cc (15~40m²)

アトモ (1液性)

水で倍に薄めてご使用ください

- ※刷毛やローラー塗布
- ※水希釈率100% (1 : 1)
- ※1度塗り
- ※乾燥時間 1~2時間
- ※使用量目安 50~60cc/m²

4 L (64~80m²)

プロリンク (1液性)

(アトモの強力版)

- ※刷毛やローラー塗布
- ※水希釈率0~10%まで
- ※1~2度塗り
- ※乾燥時間 1~2時間
- ※使用量目安 50cc~60cc/m²

4 L (59~78m²)

ベース材

ダイヤモンドフロア レベル (2液性) 主に外部用

A材とB材を2:1で混合し十分攪拌して下さい

◎必要に応じて加水してください

※コテ塗り

※1~2度塗り

※乾燥時間 2~3時間

※使用量目安 (A B混合後の量)

メッシュ無し時 1kg/m² (A660g + B330g)

全面メッシュ伏せ込み時 2kg/m² (A1,330g + B660g)



A材 ペースト
13.2kg



B材 粉体
6.8kg

コンティニューオベース (1液性) 内装用

1袋25kgに対して6~8ℓの水で混合し十分攪拌して下さい

※コテ塗り

※1~2度塗り

※乾燥時間 2~3時間

※使用量目安 (A B混合後の量)

メッシュ無し時 1kg/m²

全面メッシュ伏せ込み時 2kg/m²



粉体25kg

<施工ポイント>

平滑に仕上げてください。

コテ跡など凸部は乾燥後サンディングで平らにしてください。

床などメッシュ伏せこみ時、乾燥後のメッシュ跡が透けている場合は同材でメッシュ跡が消えるよう薄く再塗布してください。

仕上げ材 ～骨材サイズの違う 2種類をご用意～

ダイヤモンドフロア / ダイヤモンドフロア ファイン

2度塗り 加水せずそのままご使用ください

※コテ塗り

※1度塗り目乾燥時間 2～3時間

2度塗り目乾燥時間 6時間

※使用量目安

1kg/m² (500g × 2度塗り)

※骨材サイズ

フロアファイン < フロア



ペースト20kg

< 施工ポイント >

1度目のコテ跡が仕上がりの柄に影響を与えます。

うっすら柄を出しながら手触りはツルツと仕上げるコツは、1度目はコテ跡などの柄を薄くつけて施工し、2度目の塗り付けでコテ跡の凹凸を無くす程度に薄く塗り付けてください。

2度目の塗り付け後、手につかない程度に乾いたら綺麗なコテで押える（磨き作業を行う）と表面の目が詰んでツルツルとしてきます。

2度塗り終了後は6時間以上乾燥時間を設けてください。

★押え磨きの際は厚さ0.5～0.6mm程度の硬めのコテをご使用下さい。

コテ裏は常に綺麗な状態で磨いてください。

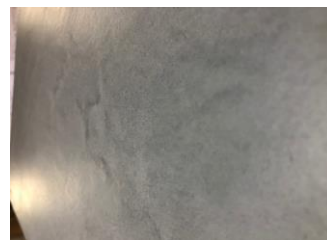
★押え磨き過ぎはコテの摩擦熱でくすみ（コテ焼け）が発生する場合があります。くすみが気になる場合は、乾燥後に120番～240番のサンドペーパーで研磨すると薄くなります。

黒など濃色系はサンドペーパーで研磨すると白っぽく色が薄くなりますが、トップコートを塗布する事で色は概ね戻ります。無研磨仕上げ箇所との色差が生じる場合がございますのでご注意ください。

★1度目のコテ跡の凹凸が大きい場合は2度目を塗る前に凸部を80番～120番のサンドペーパーで削って下さい。



1度目塗り付け



2度目塗り付け+押え磨き

コート材

ダイヤモンドシーラー（2液性）

A材とB材と水を混合し、十分攪拌して下さい。

壁：1度塗り カウンター、床、浴室など：2～3度塗り

※1度目はコテ塗り、2度塗り目以降は
コテ塗り 又は ローラー塗り

※1度塗り目乾燥時間 4時間

※2度塗り目以降乾燥時間 2～3時間

※最終塗布後24時間の養生時間を経
て完全硬化



A材 液体 4.2kg

B材 液体 800g

< 施工ポイント >

- ★ ご使用前にトップAを十分にかき混ぜてください。かき混ぜが不十分だと艶が出る事があります。
- ★ 缶内の硬化した成分や樹脂の塊などの除去に、目の細かいネットなどでろ過してください。
- ★ 塗布前に表面のゴミやほこりなどふき取ってください。
- ★ 1度目は、仕上げ面の凹凸に材料をまんべんなく塗布するためにコテを使用してください。
- ★ ローラー痕を残さないよう、短毛をご使用ください。
- ★ 塗布量が多すぎると白濁したまま硬化する原因となりますので薄目に塗布してください。入り隅などはトップが溜まりやすいのでご注意ください。塗布量が多い場合や泡が発生した場合は未使用のローラーで気泡をつぶして余剰分を取ってください。
- ★ コテ跡やローラー跡が残らない様、ランダムに動かしてください。
- ★ 施工の際や養生時はホコリ等が付かないような施工環境に配慮してください。
- ★ 乾燥後、表面を1000～1500番のサンドペーパーで撫でるように力を入れずに研磨すると表面がより滑らかになります。

デコラ社ダイヤモンドシーラー 混合対応表

混合内容：ダイヤモンドシーラー **A材 + B材 + 水**

ダイヤモンドシーラー 1㎡/1度塗り あたり100g使用

施工面積	A材		B材		水		
1㎡	73g	+	14g	+	13g	=	100g
2㎡	146g	+	28g	+	26g	=	200g
3㎡	219g	+	42g	+	39g	=	300g
4㎡	292g	+	56g	+	52g	=	400g
5㎡	365g	+	70g	+	65g	=	500g
6㎡	438g	+	84g	+	78g	=	600g
7㎡	511g	+	98g	+	91g	=	700g
8㎡	584g	+	112g	+	104g	=	800g
9㎡	657g	+	126g	+	117g	=	900g
10㎡	730g	+	140g	+	130g	=	1kg

施工手順

施工箇所や下地状況により下地処理が変わります。

下記状況に応じた下地処理とダイヤモンドシステム施工をしてください。

- ※ダイヤモンドシーラー（トップコート）は仕上げ箇所に応じて、塗布回数が変わります。
- ※床・浴室、シャワールームの接着材はプロリンク2度塗り、もしくはワンプライマー1度塗りです。
- ※クラック防止の為、ビスピッチは100～150mmとしてください。
- ※カウンターや床の合板は反り（クラック）防止の為、厚さ25mm以上をご使用ください。
- ※パテはオンザウォール塗り壁専用パテをご使用ください。

◎壁施工 石膏ボード下地の場合

【下地処理】

ビス頭パテ埋め、接続箇所メッシュ+パテ処理

【ダイヤモンドシステム施工】

アトモもしくはドック プライマー 1度塗り

↓

ダイヤモンドフロアレベル

もしくはコンティニューオベース 1度塗り（下地強化、不陸調整のため必要に応じて）

↓

ダイヤモンドフロア 2度塗り

↓

ダイヤモンドシーラー 1度塗り

◎壁施工 合板下地の場合

【下地処理】

アク止め、ビス頭パテ埋め、接続箇所メッシュ+パテ処理

【ダイヤモンドシステム施工】

アトモもしくはドック プライマー 1度塗り

↓

ダイヤモンドフロアレベル

もしくはコンティニューオベース 1度塗り（下地強化、不陸調整のため必要に応じて）

↓

ダイヤモンドフロア 2度塗り

↓

ダイヤモンドシーラー 1度塗り

◎カウンター、天板 施工の場合

【下地処理】

アク止め、ビス頭パテ埋め、接続箇所メッシュ+パテ処理

【ダイヤモンドシステム施工】

アトモもしくはドックプライマー 1度塗り

↓

ダイヤモンドフロアレベル

もしくはコンティニューオベース

↓

ダイヤモンドフロア 2度塗り

↓

ダイヤモンドシーラー 2度塗り



◎床施工の場合

【下地処理】

アク止め、ビス頭パテ埋め

【ダイヤモンドシステム施工】

プロリンク 2度塗り

もしくはワンプライマー 1度塗り

↓

ダイヤモンドフロアレベル+全面メッシュ伏せこみ

もしくはコンティニューオベース+全面メッシュ伏せこみ

↓

ダイヤモンドフロア 2度塗り

↓

ダイヤモンドシーラー 2～3度塗り

<施工ポイント>

土間やモルタル下地の場合、地面からの防湿対策を行ってください。
またコンクリート、モルタルが十分乾燥した状態から作業を開始してください。

◎浴室・シャワールーム施工の場合

【下地処理】合板部アク止め、ビス頭パテ埋め

【ダイヤモンドシステム施工】

<浴室など床部>

プロリンク 2回塗り

もしくはワンプライマー 1度塗り



ダイヤモンドフロアレベル + 全面メッシュ伏せこみ

もしくはコンティニューオベース + 全面メッシュ伏せこみ



ダイヤモンドフロア 2度塗り



ダイヤモンドシーラー 2～3度塗り

<浴室など壁・天井部>

プロリンク 2度塗り

もしくはワンプライマー 1度塗り



ダイヤモンドフロアレベル + 部分メッシュ

もしくはコンティニューオベース + 部分メッシュ



ダイヤモンドフロア 2度塗り



ダイヤモンドシーラー 2～3度塗り

<施工ポイント>

土間やモルタル下地の場合、地面からの防湿対策を行ってください。
またコンクリート、モルタルが十分乾燥した状態から作業を開始してください。

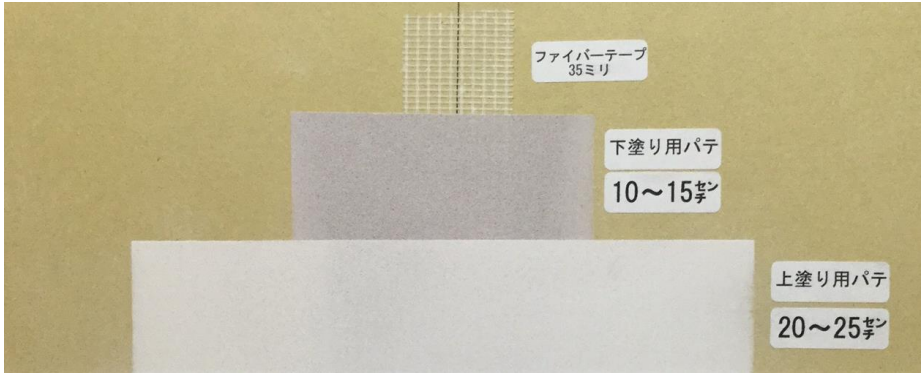
●石膏ボードパテ処理

オンザウォール製

塗り壁専用パテ 下塗り用／上塗り用 をご使用ください。

【下塗り用】 ヤセが少なく細粒。厚付性能と作業性を両立。

【上塗り用】 超細粒。パテのつながりが出にくい塗り壁用パテ。



下パテは攪拌機にて攪拌してからご使用ください。

上パテはコテ板の上でよく練ってからご使用下さい。

硬く感じる場合は2%程加水してご使用ください。

石膏ボードの小口は粉っぽさを抑える為、プライマーを塗布してください。

- 1) 石膏ボードのVカット部を「下塗り用」パテで埋めてください。
- 2) ジョイント部分を35^ミファイバーテープで補強します。
出隅・入隅は50^ミファイバーテープをご使用ください。
- 3) ファイバーテープが隠れるよう「下塗り用」パテで10^ミ～15^ミ幅で1回目のパテ処理をし、**十分乾燥**させます。この際パテが薄過ぎるとメッシュ透けの原因になります。ビス頭も「下塗り用」パテにて処理してください。
- 4) 乾燥後「上塗り用」パテにて20^ミ～25^ミ幅で2回目のパテ処理をし、**十分乾燥**させます。この際メッシュ透けが無いことをご確認ください。
また、ビス頭も「上塗り用」パテにて処理してください。

●使用上の注意

- ・目に入った場合、直ちに水で15分以上洗い流し、異常がある場合は医師の診断を受けて下さい。
- ・状況により保護マスク、保護眼鏡、保護手袋等を着用して下さい。
- ・Mクロス(紙付ベニヤ)は塗装後、シワが発生し仕上げ面にも影響を与えますので使用しないでください。
- ・施工は摂氏5度以上、35度以下の環境で行ってください。

《お手入れ方法》

- 普段は乾いた布か固く絞った布で軽く拭く程度で十分です。
- 汚れやキズに強いウレタン塗膜ですが、ワインやコーヒーなど色素の強い液体の長時間の放置はシミの原因となりますので直ぐにふき取って下さい。
- 油汚れが付いた際には中性洗剤を浸した布で軽くこすり、水拭きをして最後に乾拭きをします。
- ウレタン塗膜はメンテナンス無しでも長期にわたる耐久性を有しておりますが、使用箇所や使用頻度など状況により表面の劣化（防水効果の劣化）が起こる場合がございます。その際はサンドペーパー等で古いウレタン層を除去し再塗布する事により効果がよみがえります。

★禁止事項

- 塗装面にキズがついてしまうと白い跡になってしまいますのでスチールウールや研磨剤で磨いたり、ヤスリで削ることは避けて下さい。
- 強アルカリや強酸性の洗剤、重曹や除光液等の薬品の使用は避けて下さい。
- 火にかけていたお鍋や調理器具を直置きすることは避けてください。
- 暖房機器の側への施工は反りの原因になる可能性がありますのでご注意ください。